

第19回 青柳遺跡 (福島市瀬上)

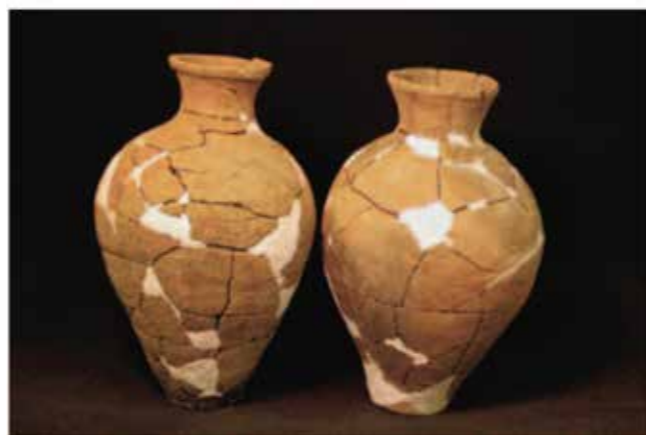
青柳遺跡は稲作が開始された弥生時代前期(約2,200年前)の遺跡です。遺跡は阿武隈急行瀬上駅の北方約230mに位置しており、すぐそばには青柳神社があります。この地域は阿武隈川と摺上川の合流地点に近く、遺跡は両河川によって形成された低地に立地しています。

遺跡は昭和51年に開始された瀬上東部土地区画整理事業による道路・側溝工事中に発見されました。発見されたのは小堅穴の中に5個体の土器が埋納された遺構で、すべてが弥生時代の壺形土器であり、一か所にまとまっていた。人骨は未発見ですが、遺構の状況などからこれらの土器は弥生時代の再葬墓と考えられます。再葬墓とは亡くなった人をいったん土に埋めるなどして、骨になってから取り出し土器の中に納めて地面に埋めるお墓で、弥生時代に南東北地方から北関東地方にかけてみられる埋葬方法です。

残念ながら周辺からはこれ以外の遺構・遺物は見つかりませんでした。阿武隈川によってつくられた低地のどこかに集落が存在するものと考えられます。



壺がまとめて発見された様子



再葬墓に使われていた壺(弥生土器)

企画展 上岡遺跡発掘物語

期 間 7月22日(土) ~ 11月13日(月)

じょーもびあ宮畑体験学習施設では、企画展「上岡遺跡発掘物語」を開催しています。国重要文化財「しゃがむ土偶」の発見された上岡遺跡の昭和27年や昭和56年の発掘調査成果をもとに、縄文時代晩期の文化や社会について、わかりやすく解説しています。ぜひ、おいでください。

体験学習施設展示室観覧料 ※団体は20名以上 ※未就学児は無料です  
 一般 個人：200円 団体：140円  
 高校生以下 個人：100円 団体：70円  
 休館日 毎週火曜日(7月21日~8月24日は無休)  
 開館時間 9:00~17:00

企画展開連事業 トークショー 土偶を発掘する

- ・講師 譽田亜紀子氏(フリーライター)
- ・日時 8月27日(日) 午後1時30分~3時
- ・場所 じょーもびあ宮畑体験学習施設 ホール
- ・定員 80名(参加費無料 申し込み不要)
- ・参加費 無料(展示室観覧は有料)

・考古学的に発掘された土偶の、その意味をさらに掘り下げる譽田氏とじょーもびあ宮畑職員の2名によるトーク。



編集後記

沖縄県石垣市の白保竈根田原洞穴遺跡で2万7千年前の人骨が発見されたことが5月のニュースで報じられ、話題になりました。国内最古とされていた港川人よりもさらに5千年さかのぼります。また、人骨が19体にのぼることなどから、遺跡が墓域である可能性もあるとのこと。

新発見やDNA研究の進歩などで歴史は次々と更新されます。読み終えたはずの本のページがいつの間にか増え、時にはそのページの後の記述の意味も変わってくるようなものかも知れません。

私たちボランティア同士の会話の中でも、「縄文時代の事は勉強すればするほどわからなくなる」といった声が聞かれます。既知の領域が広がるほどに未知と接する境界面も広がるのでしょうか。でも、だからこそ探求の楽しみは尽きないとも言えます。学問の面白さはこういうものかもしれませんね。(茂)

# じょーもびあ宮畑だより

## 2017 夏号

### vol. 22

特集 : じょーもびあ宮畑には毎年沢山の小学生がやってきます…… P 2  
 連載 : 展示案内 ⑥…… P 3  
 : コラム 縄文の小径 第2回…… P 3  
 : 福島市の遺跡 第19回…… P 4



7月23日にはじょーもびあ宮畑夏まつりを実施しました。当日は雨模様のあいにくの天候でしたが約900人が来場し、縄文人体験やフリーマーケット、エコバック作りスタンプラリー、プラネタリウムなどを楽しみました。

## じょーもぴあ宮畑には毎年沢山の小学生がやってきます。

小学校6年で学ぶ社会科の授業は、縄文時代からスタートします。その導入として、じょーもぴあ宮畑には4月から5月にかけて、毎日沢山の小学生がやってきます。

じょーもぴあ宮畑では、小学校の活用事業を支援するために、案内ガイドや体験サポートを行っています。見学学習を終える

ころには、子供たちの興味が歴史に向かい始めていることが手ごたえとして感じられます。



- たて穴住居では、まるでタイムスリップしたみたいでした。(6年男子)
- 縄文時代の人の生き方や縄文土器の使い方などをくわしく知ることが出来ました。(6年男子)
- 今、自分が昔の縄文時代の人たちと同じ場所にいることもすごいことなんだと思いました。(6年女子)
- 土器が幼児の墓に使われている事を知ってびっくりしました。(6年女子)
- 昔の人はこんな道具を使っていたことにおどろきました。(6年男子)
- たて穴住居はとても広くてびっくりしました。(6年女子)
- 暗いのが苦手な私には(竪穴住居で過ごす夜は)とても想像が付きません。(6年女子)
- 二階建ての掘立柱建物は上がったときに縄文人が見ていた景色が見れてよかったです。(6年女子)
- 1万年以上も前から落とし穴や弓矢を使っていたのは意外でした。(6年男子)

子供たちの感想

• 縄文人が苦労をして作り上げた物が今の生活にはかせないものとなっているということにもおどろきました。(6年女子)

• 今の時代は便利な家電などがたくさんあって、不便の無い暮らしだけど、昔は工夫しないと生きていけないんだなあと思いました。(6年女子)

初めて縄文土器の実物に出会ったり、竪穴住居の中に入ってみたり、火起しにチャレンジしたり。案内ガイドを質問攻めにする子も、火が起きなくて悔しがる子も。

子供たちは(ときには引率の先生も)全身を使って縄文時代を学びます。

私たちスタッフは、そんな子供たちの感性から学んだり、励まされたりしています。



沢山の学校が見学・体験の感想を送って来てくれます。中には「新聞」を作って送って来てくれる学校がありました。上にあげた「縄文時代新聞」は浪江町立浪江小学校の児童たちによるものです。

## 展示案内 ⑥

展示室「縄文人のおくりといのり」の入口には、飯坂町東湯野の上岡遺跡から出土した「しゃがむ土偶」が展示してあります。昭和27年に発見された土偶は日本を代表する土偶であり、

国の重要文化財に指定されています。

土偶は縄文人の「いのり」を表す代表的な遺物であり、上岡遺跡だけではなく宮畑遺跡や月崎A遺跡を始め、沢山の遺跡から見つかっています。

土偶のコーナーには特に宮畑遺跡から出土した土偶を中心に、様々な表情の土偶を展示しています。

役目を終えた土器などの道具をカミに返す「おくり」の儀式も、縄文人の精神文化を考える上で重要な行為です。展示室では送りの場で見つかった土器を展示していますが、公園の西端にある露出展示棟では、発掘調査で見つかった時のままの状態で見ることが出来ます。



## 連載コラム 縄文の小径

### 第二回 日本列島に人類がやってきた

#### 日本列島最古の遺跡は…

第一回に続いて、日本列島人を話題にする。この連載のスタートにはこれ以外には考えられない。日本列島に新人(ホモ・サピエンス)が最初に渡来した時期は約4万年前ごろとされている。ただ、日本列島では4万年以前の地層からも人々が使っていた旧石器が発見されており、それ以前にすでに人類は日本列島に来ていたと推測される。日本旧石器学会の集計によれば、全国には旧石器時代の遺跡が1万箇所以上あるという。これは世界有数のデータ量である。遺跡の年代は3万8千年前以降に集中しており、4万年前以前の遺跡数は極めて少ないが、中国大陸には北京原人などの旧人の化石があり、朝鮮半島にも原人か旧人が使っていたものと考えられるハンドアックスという大型の石器が発掘されており、原人や旧人がいたことは確実とされている。ナウマンゾウ・オオツノジカなど、古い動物はアジア大陸から日本列島へ渡ってきているので、原人や旧人が日本にいたとしてもおかしくない。

日本で最古の遺跡は、岩手県遠野市の金取遺跡で、8〜9万年前と見られる地層から石器が出土した。火山灰層に照らして地質年代を把握できる日本最古の石器群である。片面調整石器、両面加工石器、チョップ(片刃の礫器)、このほか剥片、破片、円盤石核などが出土した。

しかし、金取遺跡を8〜9万年前と推定したのは石器を包含していた地層からである。人工品であることは間違いないとされているが、自然石との区別の判断が難しい旧石器時代の石器を地層年代のみから判断す



るの、1980年代から20年近くのあいだ、国民を日本列島最古の旧石器が50万年以上前にさかのぼると信じ込ませ、学校の教科書にまで記載された旧石器捏造事件を思い出させる。この時、一部の学者は原人が日本列島で高度な生活を送っていたと説明していた。

では、遠野市で見つかった日本最古の石器を作ったのは一体誰なのか。

中国北京郊外の周口店の山林にある洞穴で発見された北京原人は、55万年前〜25万年前の化石人骨とされる。身長は150センチから160センチで平坦な顔面、歯型の特徴から私たちの直接的な祖先と言われてきた。その仲間の原人が日本列島に来たのだろうか。民間人・直良信夫が明石市の西八木海岸で発見した旧石器時代のものと思われる化石人骨は明石原人と名付けられ、縄文時代以前に人類が日本列島に存在した証と結論づけられていた。しかし、その化石現物は東京大空襲で消失し、現在は原人か旧人か新人かは不明のままである。

最近の人類の年代測定の技術の進歩により、原人説は当てにならなくなっている。明石原人に限らず、かつて何々原人と呼ばれた人骨の中には現在否定されているものが少なくない。

そして、現代のDNA検査では縄文人にもわずかながらネアンデルタール人の遺伝子が含まれていることがわかった。中東やヨーロッパを中心に生活していた彼らが日本列島にも来ていたのか？ 兎に角はつきりしないが、9万年前頃、原人や旧人が日本列島に住み始めたが全国への拡がりはなかったようである。やがて、私たちの祖先となるホモ・サピエンスがアフリカを脱出して日本列島に渡来した。彼らは先住民である原人、旧人を駆逐し、急拡大して旧石器文化や縄文文化を作ったのである。日本列島人の起源が少しずつ分かってきた。

(遊行子)

#### 初めて石器を作ったのは誰？